**平湯大滝**

平湯大滝は、平湯温泉温泉郷の近くにあります。この滝は数万年前に、四ツ岳火山から流れ下った溶岩が硬い堆積岩の上に飛び出して固まり、滝を形成することになる二枚の岩壁とU字型の滝つぼを同時に作ったときに誕生しました。

地元の言い伝えによると、平湯温泉は戦国時代（1467–1568）に、飛騨国（今日の岐阜県）に侵攻した兵士たちによって発見されたそうです。戦いで疲れ果てた兵士たちがこの滝を見上げていると、滝の後ろから降りてきた一匹の年老いた白猿が彼らを近くの温泉に導いたので、彼らはそこで湯に浸かり、休息し、傷の痛みを和らげたのだそうです。

この滝は高さ64メートル、幅6メートルあり、1990年には日本の滝100選のひとつとして認定されました。

その景観は、春の若葉の輝く緑から、秋の紅葉の色鮮やかな赤やオレンジ、そして冬の滝の凍りついた流れそのものへと、季節とともに変化します。